

## 兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

兵庫医科大学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者(患者さん)の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	中皮腫瘍患者におけるセルフヘルプ・グループ機能に関する調査 [倫理審査受付番号:第4927]
研究責任者	福神 大樹
研究機関長名	兵庫医科大学長 鈴木 敬一郎
研究期間	2025年1月25日~2026年3月31日
研究の対象	先行研究であります「人権に対する産業被害の影響,ソーシャルワーク支援の必要性の一考察-中皮腫瘍患者が感じる“生きづらさ”とは-(佛教大学『人を対象とする研究』倫理規定:承認番号:2020-26-A)」で行ったインタビュー調査に参加された方が対象です。
情報の種類	インタビューデータ(先行研究で収集済のデータ)
研究目的・意義	石綿(アスベスト)の吸入(以下,石綿ばく露)が原因とされる中皮腫瘍を発症した患者(以下,中皮腫瘍患者)さんにおいて,疾病の希少性・難治性による苦悩や生活変化は周囲に理解されにくい状況です。また,医療や福祉の現場でも診療や支援経験が培われていないため,中皮腫瘍患者さんは自らセルフヘルプ・グループ(以下,SHG)を設立し,同じ経験を有している患者さん同士でピア・サポート活動を展開しています。SHGの機能として他者には理解しづらい疾病の苦悩に対して「深い共感」で,参加者に「癒し」を与え,また「利用者としての立場で参加することへの障壁が少ない」(高橋 1998:16-7)ことが報告されており,中皮腫瘍患者さんにおいても有益と考えられますが,石綿による健康被害を基盤としていることで,様々な生活課題が発生し,その領域・分野は幅広く,苦悩は多岐にわたると想定されます。SHGが当人の生活課題に対して,どのような機能を発揮しているか理解することはソーシャルワ

	<p>ーカーの支援においても有用と考えますが,患者さんにおける SHG に関する詳細は明らかにされていません.</p> <p>そこで本研究では先述した研究で得た既存データの一部を用いて,生活機能障害によって社会参加が阻害されている中皮腫瘍患者さんに対して,SHG がどのような機能を有しているのか考察することを目的としています.本研究はそれまで着目されていない中皮腫瘍患者さんが直面する生活機能障害に対して,SHG の機能を考察する点が特徴といえ,十分に研究が進んでいない中皮腫瘍患者さんに対する支援を検討する上でも研究意義は高いと考えられます.</p>
研究の方法	<p>用いる情報は,以前に行われた「人権に対する産業被害の影響,ソーシャルワーク支援の必要性の一考察-中皮腫瘍患者が感じる“生きづらさ”とは-(佛教大学『人を対象とする研究』倫理規定:承認番号:2020-26-A);実施期間 2020 年 11 月 16 日~2022 年 3 月 31 日」の研究課題で患者さんから収集したインタビューデータです.</p> <p>分析では定性的(質的)コーディングを行う.逐語録から中皮腫瘍の診断から各局面における生活機能障害の変化を見出せる語りに焦点を当てます.逐語録を繰り返し読み,記述に関する「コード」を抽出し,エクセルシートを用いて整理します.先行研究との比較検討を行いつつ,「コード」の意味内容の類似性と相違性を検討し,類似する「コード」を複数集めて抽象度を上げ,「カテゴリー」にし,作業は常に繰り返し行います.</p>
個人情報の取扱い	<p>「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します.データは研究独自の番号を付して管理し,患者さんの秘密保護に十分配慮します.研究の結果を公表する際は,所属機関などの直ちに個人を特定できる情報を含まないようにします.</p>

(当該研究への情報の利用を拒否する場合の窓口)

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6(神戸キャンパス)

学校法人兵庫医科大学 兵庫医科大学 看護学部

電話 078-304-3000(代)/078-304-3121(直)

(平日 8:30~12:00、13:00~16:00)

研究責任者 福神大樹